



Lecturer: 遠藤幹子

# Interior Design II B

インテリアデザインII B

## もしもデザインの世界を救えるのなら……

3.11以降の経済の行き詰まりや政治不安の中、デザイナーに求められるのは物質的満足感の提供ではなく、問題を解決し人の暮らしをより幸せにする力になってきました。その力をつけるため、まずは学生が日々の暮らしで感じている「何かおかしくないか?」「もっとこんな世界にならないか?」という思いを深く掘り下げ、自分なりの視点を持つ訓練を行いました。後半は、実際にどうすれば学内生活をより豊かなものに変えられるか。空間のしかけをつくり、展覧会を開いて多くの人に体験してもらいました。課題内容のHP

<https://sites.google.com/site/kuwasawasd2e2012/ideas/idea-cards>

もしもデザインの世界を救えるのなら……



### 1. まなざしを育む

日々の疑問から生まれた7つのテーマ。生徒たちが調べ、話し合い、考えたことを100頁の本にまとめました。



**時間にゆとりを**  
どうしたらもっと時間に追われずゆったり暮らせるのだろうか?



**便利さのはきちがい**  
サービスを追求しすぎ逆に不便な世の中になってはいないか?



**多様性を受け入れる**  
もっと人それぞれの幸せのかたちを認めてもよいのでは?



**コミュニケーションの欠落**  
どうしたら笑顔や挨拶があふれる世界になるのだろうか?



**ゴミであふれている**  
ゴミばかり増えるこの暮らしをどうにか変えられないだろうか?



**大自然・壮大な世界**  
もっと大自然に向きあい、己の存在を見つめ直すことが必要なのではないか?



**精神的な豊かさ**  
お金があれば豊かなのだろうか? 本当の豊かさって何なのだろうか?

## 2. 身の回りをより豊かにするしかけ

より幸せな毎日のために色々な空間をしかけ、多くの人が体験できる展覧会を開きました。



**ジカンヲハカルモノ**  
数字をかたどった線香の空間。音もなく消えゆく、あたらしい時の感覚がめばえます。



**くわワード**  
組み替え自由な吹き出し型ホワイトボード。リアルな世界でもTwitterのような活発な会話が生まれます。



**まほうのはこ**  
窮屈なエレベーターを、音と触感につつまれた不思議な空間に変身させました。日常を忘れる魔法のひとつをお届けします。



**あなたが選ぶ人生は?**  
たくさん問いこつつまれ、カーテンをめくってゆくと多くの人生の選択肢に気付くアトラクションです。



**あめと葉っぱと木**  
ふと見上げると、窓に葉っぱの飴が降り注いでいます。お一つ取って忙しい毎日を忘れて下さい。



**おかし収穫祭**  
どれかのひもを引っ張ると、くじのようにお菓子が降ってきます。なかなか思うものが手に入らないぶん、得られたときの喜びは格別です。

